

JR東日本事業概要

当社の営業エリアは、関東、甲信越から東北までの広範な地域をカバーしています。営業キロは69線区延べ7,401.7kmにおよび、1日に約1,790万人のお客さまにご利用いただいています。

●会社概要

社名

東日本旅客鉄道株式会社
East Japan Railway Company

所在地

東京都渋谷区代々木二丁目2番2号

設立

昭和62年4月1日

資本金

2,000億円

発行済株式の総数

3億8,182万2,200株
(2019年3月31日現在)

上場証券取引所

東京証券取引所市場第一部

社員数

53,200人
(2019年4月1日現在)

事業内容

- 旅客鉄道事業
- 貨物鉄道事業
- 旅客自動車運送事業
- 索道業
- 旅行業
- 倉庫業
- 駐車場業
- 広告業
- 図書・雑誌の出版業
- 金融業
- 前払式支払手段の販売業及びゴルフクラブ会員権、テニスクラブ等のスポーツ施設利用権等の販売業
- 電気通信事業
- 情報処理及び情報提供サービス業
- 損害保険代理業その他の保険媒介代理業
- 自動車整備業及び石油、ガス等の燃料、自動車用品の販売業
- 旅行用品、飲食料品、酒類、医薬品、化粧品、日用品雑貨等の小売業

●旅館業及び飲食店業

- 一般土木・建築の設計、工事監理及び工事業
- 設備工事業
- 電気供給事業
- 動産の賃貸業及びイベントに関するチケット販売、クリーニング、写真現像等の取次業
- 不動産の売買、賃貸、仲介、鑑定及び管理業
- 輸送用機械器具製造業
- 精密機械器具及び一般産業用機械器具製造業
- 看板・標識案内板等の製造・販売業
- 遊園地、体育施設、文化施設、学習塾等の教育施設、映画館等の経営
- 清涼飲料水、酒類の製造及び水産物の加工・販売業
- 骨材・石工品及びコンクリート杭・ブロック等の製造・販売業

上記の事業に附帯または関連する一切の事業、その他上記の目的を達成するために必要な事業

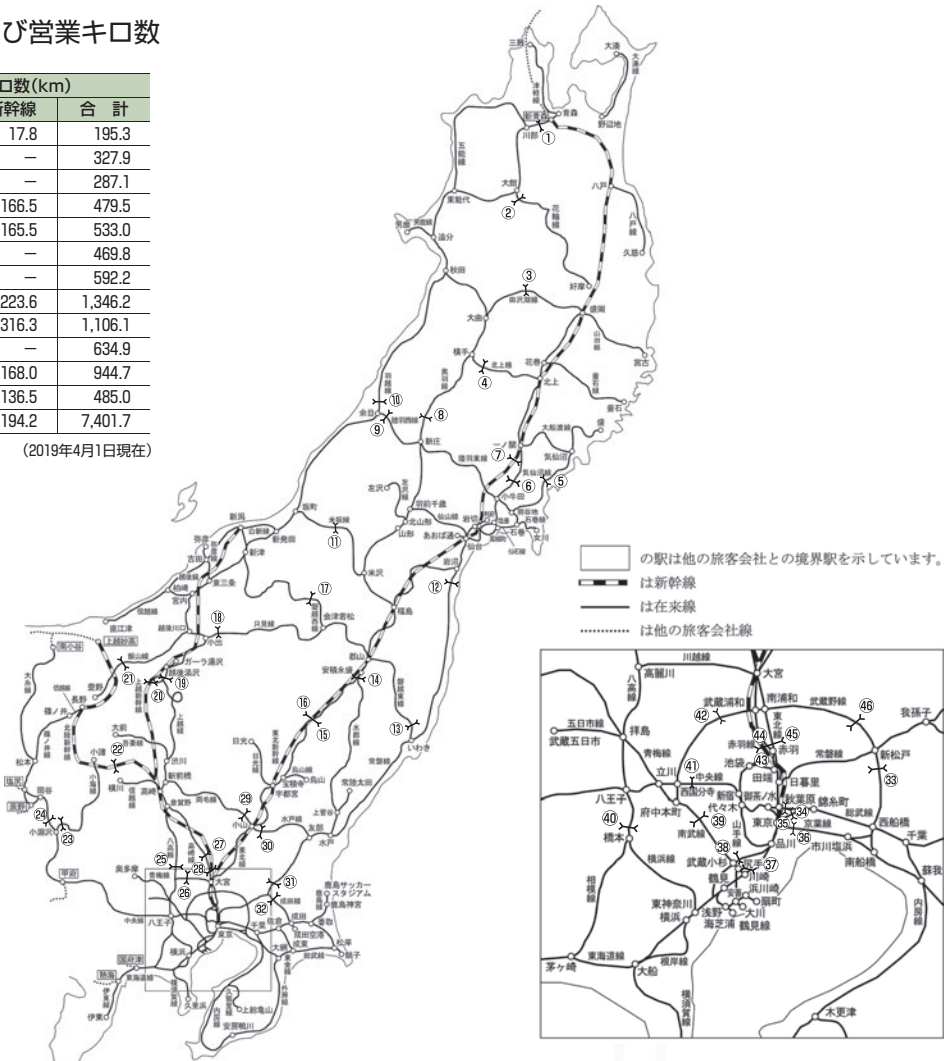
●各支社の営業エリア駅数および営業キロ数

支社名	駅数	営業キロ数(km)		
		在来線	新幹線	合計
東京支社	80	177.5	17.8	195.3
横浜支社	109	327.9	—	327.9
八王子支社	95	287.1	—	287.1
大宮支社	79	313.0	166.5	479.5
高崎支社	90	367.5	165.5	533.0
水戸支社	112	469.8	—	469.8
千葉支社	158	592.2	—	592.2
仙台支社	290	1,122.6	223.6	1,346.2
盛岡支社	193	789.8	316.3	1,106.1
秋田支社	142	634.9	—	634.9
新潟支社	193	776.7	168.0	944.7
長野支社	114	348.5	136.5	485.0
合計	1,655	6,207.5	1,194.2	7,401.7

(2019年4月1日現在)

●エリア境界駅一覧

- ①新青森～津軽新城
- ②大館～東大館
- ③赤淵～田沢湖
- ④ゆだ高原～黒沢
- ⑤本吉～陸前小泉
- ⑥油島～石越
- ⑦一ノ関～くりこま高原
- ⑧院内～及位
- ⑨南野～余目
- ⑩本橋～酒田
- ⑪今泉～萩生
- ⑫坂元～新地
- ⑬いわき～赤井
- ⑭安積永盛～磐城守山
- ⑮豊原～白坂
- ⑯那須塩原～新白河
- ⑰喜多方～山都
- ⑱只見～大白川
- ⑲土樽～土合
- ⑳越後湯沢～上毛高原
- ㉑森宮野原～足滝
- ㉒安中榛名～軽井沢
- ㉓甲斐小泉～小淵沢
- ㉔信濃境～小淵沢
- ㉕毛呂～高麗川
- ㉖武蔵高萩～高麗川
- ㉗宮原～大宮
- ㉘熊谷～大宮
- ㉙思川～小山
- ㉚小田原～小山
- ㉛藤代～取手
- ㉜東我孫子～我孫子
- ㉝新松戸～新八柱
- ㉞錦糸町～馬喰町
- ㉟浅草橋～秋葉原
- ㊱潮見～越中島
- ㊲蒲田～川崎
- ㊳西大井～武蔵小杉
- ㊴稲田堤～矢野口
- ㊵橋本～相模
- ㊶西荻窪～吉祥寺
- ㊷新座～北朝霞
- ㊸大宮～上野
- ㊹戸田公園～浮間舟渡
- ㊺川口～赤羽
- ㊻三郷～南流山



株式の状況

- 発行可能株式総数…………… 1,600,000,000株
- 発行済株式の総数…………… 381,822,200株
- 株主数…………… 205,233名

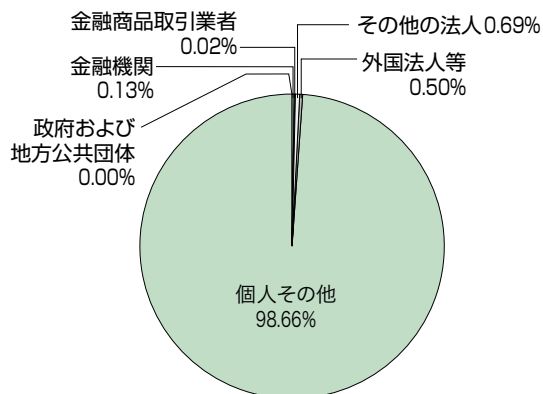
(2019年3月31日現在)

●大株主

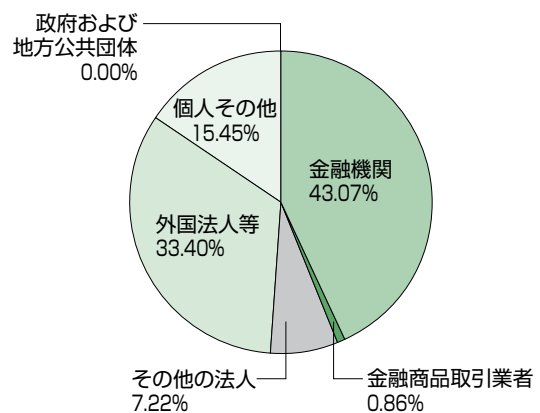
株 主 名	持 株 数
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	20,316,500 株
株式会社みずほ銀行	15,520,000
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	15,494,200
JR 東日本社員持株会	10,276,401
株式会社三菱 UFJ 銀行	9,712,000
株式会社三井住友銀行	8,169,000
日本生命保険相互会社	8,015,560
第一生命保険株式会社	8,000,000
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口 9）	7,686,800
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口 5）	6,977,800

●所有者別分布状況

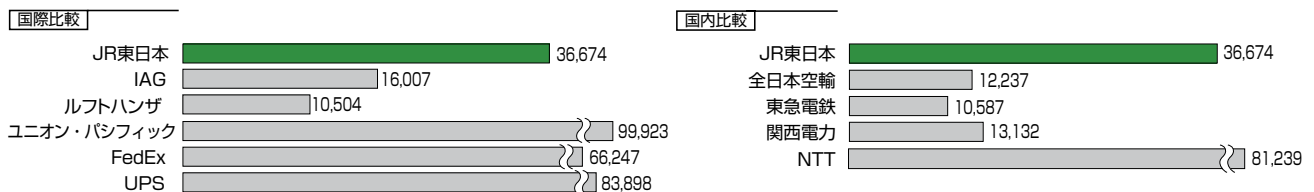
○株主数比率



○所有株式数比率



●株式時価総額企業比較（百万米ドル）



2019年3月期（IAG、ルフトハンザ、ユニオン・パシフィックおよびUPSは2018年12月期、FedExは2018年5月期）

1. 各社の期末株価および期末発行済み株式数を用いて算出したものです。
2. 換算レートは2019年3月期末の実勢レート（1米ドル＝111円、1英ポンド＝1.31米ドル、1ユーロ＝1.12米ドル）を用いています。
3. 上記のレートで米ドルに換算した期末株価は、JR東日本が96.22ドル、IAGが8.07ドル、ルフトハンザが22.10ドル、ユニオン・パシフィックが138.23ドル、FedExが249.12ドル、UPSが97.53ドル、全日本空輸が36.57ドル、東急電鉄が17.41ドル、関西電力が14.70ドル、NTTが42.37ドルでした。

■ 連結決算について

JR 東日本グループは、東京圏を含む本州の東半分のエリアを中心として、さまざまな事業を展開しており、連結決算を以下の4つのセグメントに分けています。

運輸事業

JR 東日本グループでは、鉄道事業を中心とした旅客運送事業のほか、旅行業、清掃整備業、駅業務運営業、設備保守業、鉄道車両製造事業および鉄道車両メンテナンス事業などを展開しています。

不動産・ホテル事業

JR 東日本グループでは、「ルミネ」「アトレ」など立地にあわせたさまざまなタイプのショッピングセンターの運営事業に加え、オフィスビルの貸付業やホテル業などの生活サービス事業を展開しています。

⇒連結決算の推移はこちら

http://www.jreast.co.jp/investor/factsheet/pdf/factsheet_09.pdf

⇒連結決算の長期時系列データはこちら

<http://www.jreast.co.jp/investor/historicaldata/csv/consolidated.csv>

⇒過去の決算短信はこちら

<http://www.jreast.co.jp/investor/financial/index.html>

流通・サービス事業

JR 東日本グループでは、駅の売店「KIOSK」、コンビニエンスストア「NewDays」などの小売事業をはじめ、飲食事業、卸売業、貨物自動車運送事業および広告代理業などの生活サービス事業を展開しています。

その他

JR 東日本グループでは、その他にもクレジットカード事業等の IT・Suica 事業や情報処理業など、さまざまな事業を展開しています。

■ 単体決算について

JR 東日本単体の営業収益は、大きくは鉄道事業に関わる収入と、関連事業に関わる収入に分かれています。

(1) 鉄道事業に関わる収入

① 運輸収入

- ・ 鉄道運輸収入
新幹線、在来線（関東圏）及び在来線（その他）
- ・ 荷物運賃収入

② その他の鉄道事業収入

- ・ 運輸附帯収入
鉄道用地を貸し付けた際の貸付料、駅構内で事業を営む構内営業者から得られる構内営業料、広告料などによる収入
- ・ 鉄道線路使用料収入
JR 貨物から受け取る線路使用料による収入
- ・ 運輸雑収
JR 他社から受け取る販売手数料などによる収入

● 鉄道輸送量

⇒鉄道輸送量の推移はこちら

http://www.jreast.co.jp/investor/factsheet/pdf/factsheet_09.pdf

⇒鉄道輸送量の長期時系列データはこちら

<http://www.jreast.co.jp/investor/historicaldata/csv/traffic.csv>

(2) 関連事業に関わる収入

鉄道事業とは明確に区分できる事業や非鉄道事業資産の活用により得られる収入で、ショッピングセンターなどの事業を営むグループ会社からの不動産賃貸料などにより構成されています。

⇒単体決算の推移はこちら

http://www.jreast.co.jp/investor/factsheet/pdf/factsheet_09.pdf

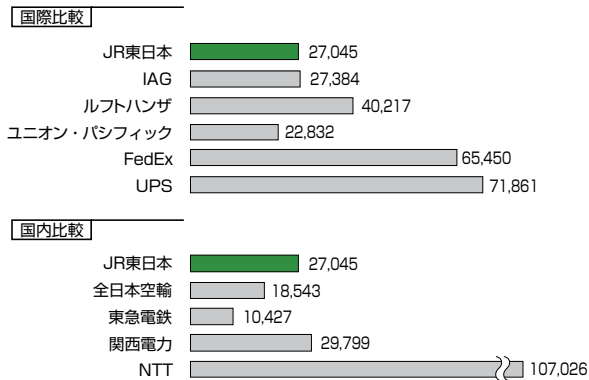
⇒単体決算の長期時系列データはこちら

<http://www.jreast.co.jp/investor/historicaldata/csv/non-consolidated.csv>

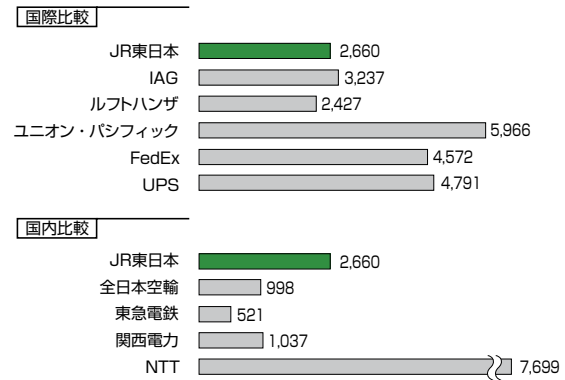
財務比較

● 企業比較

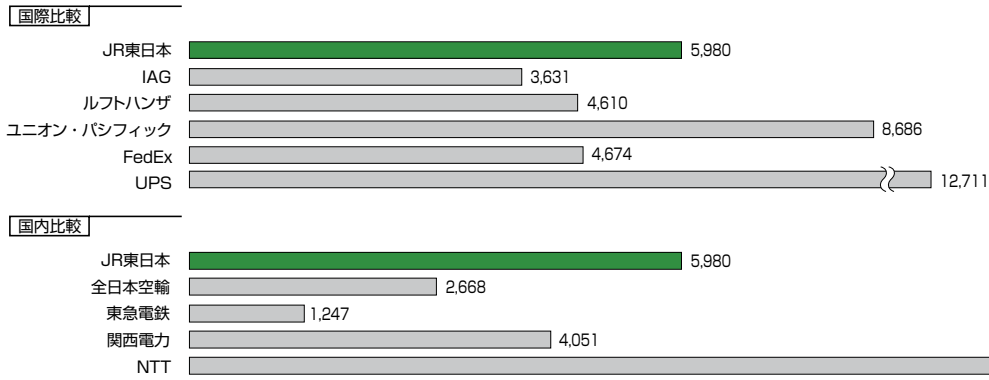
○ 営業収益(百万米ドル)



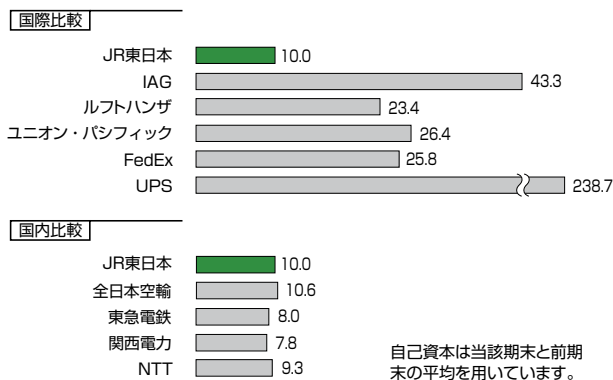
○ 親会社株主に帰属する当期純利益(百万米ドル)



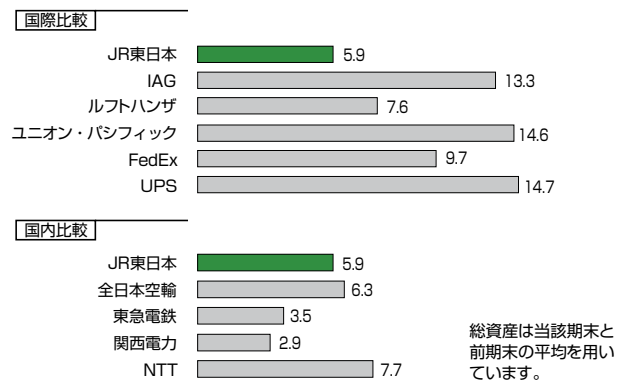
○ 営業活動によるキャッシュ・フロー(百万米ドル)



○ 自己資本当期純利益率(ROE)(%)



○ 総資産営業利益率(ROA)(%)

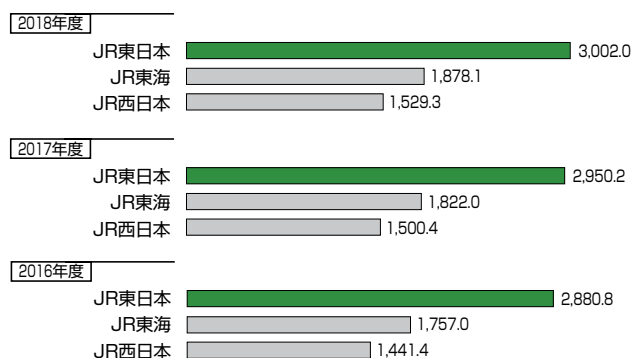


2019年3月期(IAG、ルフトハンザ、ユニオン・パシフィックおよびUPSは2018年12月期、FedExは2018年5月期)

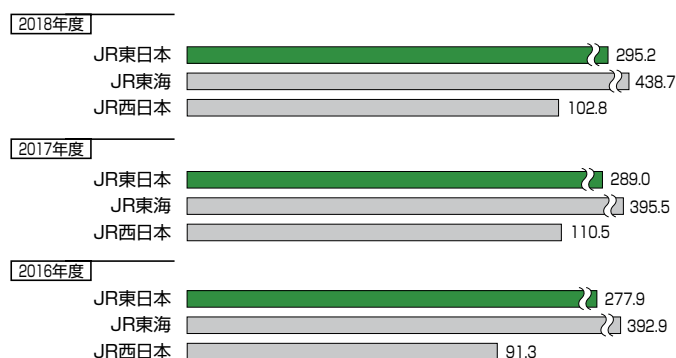
- 各社のアニュアルレポートまたは連結決算短信をもとに作成しています。
- 換算レートは2019年3月期末の実勢レート(1米ドル=111円、1英ポンド=1.31米ドル、1ユーロ=1.12米ドル)を用いています。

● JR本州 3 社の財務比較 (連結)

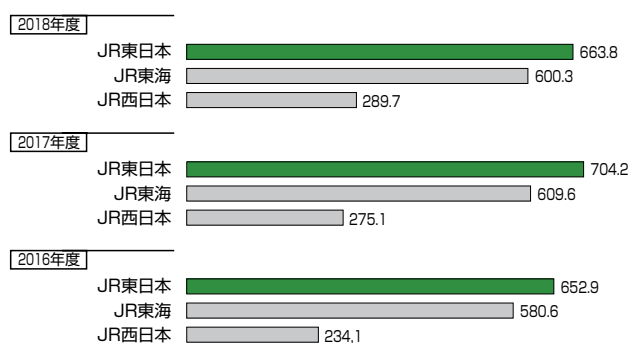
○ 営業収益 (10億円)



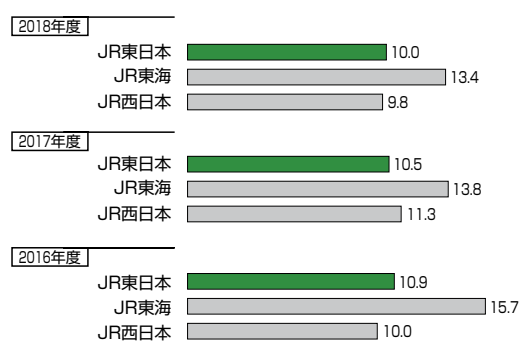
○ 親会社株主に帰属する当期純利益 (10億円)



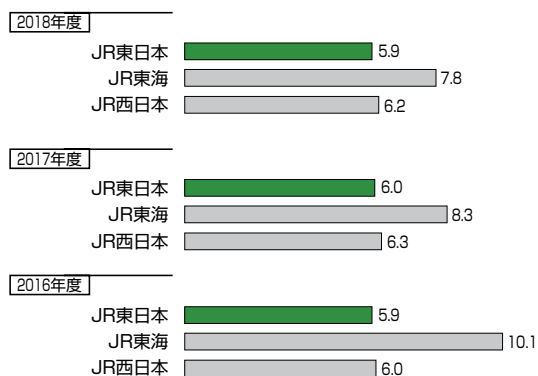
○ 営業活動によるキャッシュ・フロー (10億円)



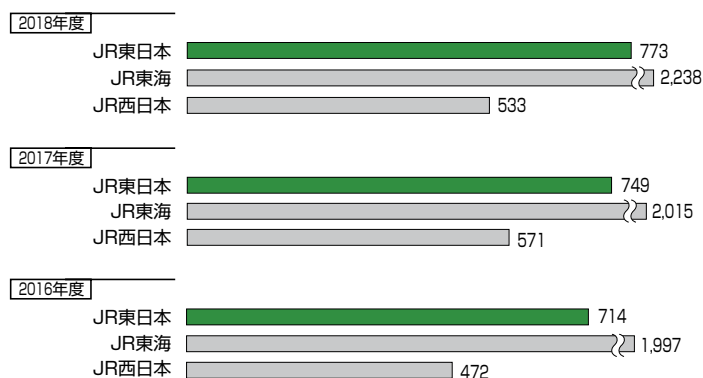
○ 自己資本当期純利益率 (ROE) (%)



○ 総資産営業利益率 (ROA) (%)



○ 1 株当たり当期純利益 (円)

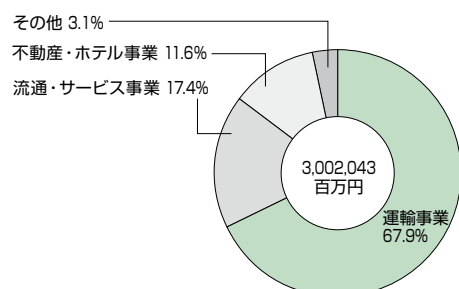


1. このセクションのデータはJR東海とJR西日本の連結決算短信をもとに計算したものです。
2. 総資産および自己資本は当該期末と前期末の平均を用いています。
3. 1株当たり情報は普通株式の期中平均株式数をもとに算定しています。
4. 表示単位未満を四捨五入しています。

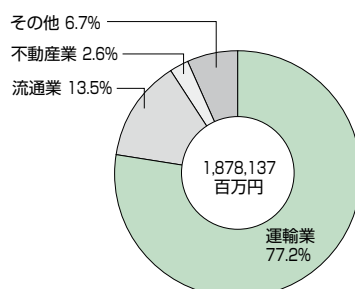
● 主要運輸事業各社の連結セグメント別営業収益

出典: 各社決算短信 (2019年3月期)

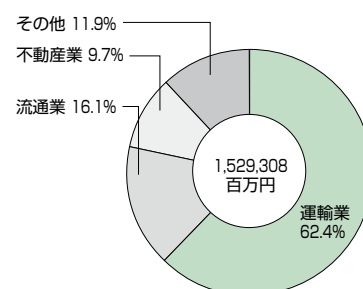
○ JR東日本



○ JR東海



○ JR西日本



設備投資

2019年度 グループ設備投資計画概要（主な件名）

●信頼・安全

「究極の安全」の追求・リスクマネジメント・コンプライアンス徹底

- ・車両新造（GV-E400 系等）
- ・大規模地震対策
- ・ホーム安全設備整備（ホームドア等）
- ・踏切安全対策
- ・線路モニタリングシステム
- ・電気部門のスマートメンテナンス
- ・新幹線教育訓練設備整備
- ・セキュリティ対策
- ・バス車両新造〔ジェイアールバス関東(株)〕

サービス品質改革

- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技会場
周辺駅改良
- ・駅設備整備（エレベータ・トイレ・案内表示）
- ・首都圏電気設備強化

地域社会への貢献

- ・沿岸被災線区復旧
- ・駅自由通路・橋上化整備

地球温暖化防止・エネルギー多様化

- ・エコステモデル駅整備
- ・発電所設備更新
- ・照明 LED 化

●豊かさ・生活

くらしづくり・まちづくり

- ・品川開発プロジェクト（第Ⅰ期）
- ・高輪ゲートウェイ駅整備
- ・WATERS takeshiba 開発
- ・JR 横浜タワー・JR 横浜鶴屋町ビル
- ・仙台駅東口オフィス開発
- ・新潟駅高架下開発
- ・JR 秋田ゲートアリーナ（仮称）
- ・ホテルメトロポリタン 鎌倉〔日本ホテル(株)〕

「シームレスな移動」の実現

- ・相鉄・JR 直通線整備
- ・羽田空港アクセス線（仮称）
- ・中央快速線グリーン車整備

輸送サービス変革・

観光振興・地域産業活性化

- ・観光特急車両新造（伊豆エリア）

Suica の共通基盤化

- ・新幹線 IC 乗車サービス
- ・地域連携 IC カード

データ分析等による新たなサービス提供

- ・MaaS
- ・JR 東日本アプリ
- ・えきねっとシステム更新
〔(株)JR 東日本情報システム〕

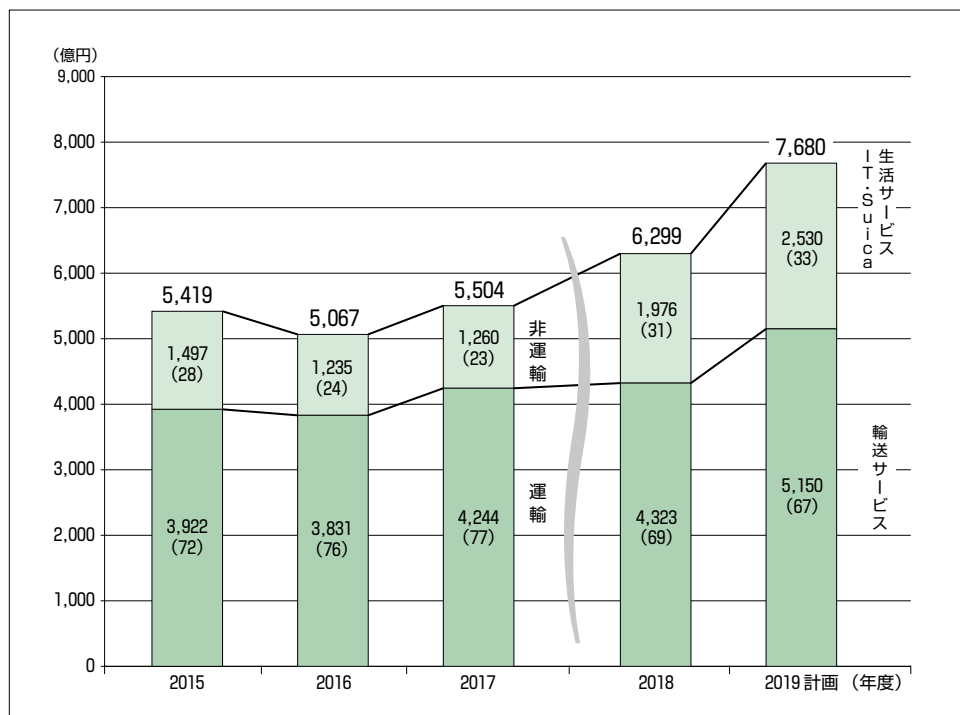
●社員・家族の幸福

仕事の高度化・活躍フィールドの拡大・お客さまのより近くでの創意工夫

- ・職場環境整備
- ・女性社員設備整備
- ・乗務員区所再編
- ・支社ビル・寮整備

※斜字はグループ会社の設備投資件名

設備投資額の推移（連結）



注1)：()内は、構成比を示す。

注2)：記載金額は、単位未満を切り捨てて表示。

注3)：2016年度以前の実績値は、旧セグメントによる運輸業・非運輸業の設備投資額を記載。